

関係者各位

宮城県中学校体育連盟 熱中症対応について

宮城県中学校体育連盟
会長 日置利道
(公印略)

第68回宮城県中学校総合体育大会が7月21日(日)～25日(木)に県内各地にて行われます。昨年は、「災害級の暑さ」が各地で見られ、宮城県中学校総合体育大会も非常に厳しい環境の中で実施されました。幸い、昨年度は各専門部・各学校の対応によって大きな事故がなく、無事に大会を終了することができましたが、地球環境が変化している中、油断ならない状況が続いています。本連盟では、下記の方針のもと、各専門部との連携や情報共有を密にし、対策に努めていきます。

記

○熱中症対策の基本方針

宮城県中学校体育連盟は、「**生徒の命を守ることを最優先し、対応します**」。生徒の生命の危険がある場合は試合を中断、または中止し、その後の対応を検討します。

しかし、会場や審判員、役員の確保、上位大会の期日、学校行事等の問題から、日程の延期が難しい状況があります。この大会への出場を目指し、日々努力してきた約1万名の生徒がいるという観点から、生徒の命を守りつつ、生徒の「夢の舞台」も守る方法を模索し、最大限努力します。

○全体として実施すること

- ・近隣病院へ大会要項を送付し、緊急時の対応等の依頼をしています。
- ・すべての日程のすべての会場に養護教諭を配置し、体調不良者への応急処置ができる体制を整えます。
- ・すべての出場校へ「熱中症事故防止について」の文書を配布し、各校、各部での生徒への事前指導を行います。
- ・各競技の各会場において、氷やスポーツドリンク、経口補水液等を例年以上に用意します。
- ・生徒への健康観察をできる限りこまめに行います。

○競技の特性や会場の状況に応じて臨機応変に実施する可能性のあること

- ・屋内種目では可能な範囲で冷房の使用等を検討します。また、冷房の使用できる会議室等を確保し、体調不良の生徒が休むことができるようにします。
- ・試合の合間、または試合中に、状況に応じて通常より多く給水タイムや休憩時間を設定します。
- ・競技によっては、試合開始時間を早めることも検討します。または暑さの厳しい昼過ぎの試合の時間や日程・会場をずらすことも検討します。
- ・審判員への給水をこまめに行い、その際に選手も休めるようにすることを検討します。
- ・予備日の設定があり、その後の競技運営に大きな支障がないと判断された場合には順延をすることも検討します。
- ・屋外種目等では、応援生徒への帽子着用や水分補給の呼びかけ、応援の休憩時間等の設定を検討します。また、直射日光を浴びる時間が少なくなるよう、待機場所のあり方を検討します。

各部会ごとの対応については、別紙の通りです。試合会場や試合日程の変更などがあった場合にはホームページ上「宮城県中総体大会実施情報」で連絡いたします。